

第3回 綾部市地域公共交通活性化協議会

次 第

日 時 令和4年9月14日(水)

13時30分～

場 所 I・Tビル2階 多目的ホール

1 開 会

2 開会あいさつ

3 報 告

あやバス等の取組報告について

4 議 事

第1号議案 綾部市地域公共交通計画の素案について

5 その他

6 閉 会

綾部市地域公共交通活性化協議会委員名簿

(敬称略)

	所属	職名	氏名	備考
1	綾部市	市長	山崎善也	会長
2	綾部市自治会連合会	会長	高倉正明	副会長
3	京都大学大学院工学研究科	准教授	松中亮治	副会長
4	綾部市老人クラブ連合会	会長	田中丈夫	
5	綾部市身体障害者協会	会長	斎藤信吾	
6	綾女ねっと	会長	泉朝子	代理出席 副会長 栗下美佐子
7	日本交通株式会社	取締役兼福知山・綾部営業 所長 京都北部地域担当	川本康博	
8	株式会社関西丸和ロジスティクス	運行システム事業本部長	竹本浩二	代理出席 京都事業部 綾部事業所長 吉村弘志
9	日本交通労働組合綾部支部	支部長	寺澤正人	
10	西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社	総務企画課長	石原純	欠席
11	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア	理事長	玉川弘信	
12	特定非営利活動法人於与岐みせん	理事長	上野司	
13	国土交通省近畿運輸局 京都運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整)	稲留健一郎	代理出席 運輸企画専門官(輸送) 奥井俊
14	国土交通省近畿地方整備局 福知山河川国道事務所	所長	犬丸潤	
15	京都府中丹東土木事務所	所長	西村祥一	代理出席 企画調整課 課長 羽野晋章
16	京都府綾部警察署	署長	鶴見威之	代理出席 交通課長 高田紘嗣
17	綾部商工会議所	会頭	塩田展康	代理出席 専務理事 山崎栄市
18	綾部市社会福祉協議会	会長	朝倉正道	
19	一般社団法人 京都府北部地域連携都 市圏振興社 綾部地域本部	地域本部長	平野正明	
20	あやべボランティア総合センター	運営委員長	前田道子	代理出席 参与 高本克男
21	京都府中丹広域振興局	局長	高屋奈尾子	代理出席 企画・連携推進課長 田中秀文
22	綾部市	市民環境部長	上原季司	

【事務局】

1	綾部市市民環境部市民協働課	課長	立藤聡	
2	綾部市市民環境部市民協働課 市民活動推進担当	課長補佐	田中恵美	
3	綾部市市民環境部市民協働課 市民活動推進担当	主事	横山成之	

1 計画の対象地域や期間など

計画区域 綾部市全域

計画期間 おおよそ10年後の将来を見据えつつ、令和5年度から9年度までの5年間の計画

対象とする交通 市内を運行する全ての地域公共交通
 鉄 道：JR西日本（山陰本線高津駅～山家駅、舞鶴線綾部駅～梅迫駅）
 バ ス：あやバス（全系統）、京都交通（市内を運行する区間）、
 高速バス（綾部から京都・大阪方面を結ぶ路線）
 個別輸送：タクシー、交通空白地有償運送、福祉有償運送

2 地域の課題・目指すべき将来像・計画の基本方針など

公共交通を取り巻く地域や社会の状況

まちの現況	少子高齢化や人口減少が進み、新型コロナウイルス感染症の影響で、公共交通利用離れも加速
	綾部駅周辺から離れた地区で、高齢化率50%を超過
	運転免許を持たない高齢者の増加
	都市機能は綾部駅周辺に集中し、買物や通院の移動先も綾部駅周辺が多い
	通勤や買物、通院の交通手段は、ほとんどが自家用車利用
公共交通の現況	全般
	公共交通利用者数の減少により公共交通のサービスレベルの維持・存続が厳しい状況
	運転手の高齢化及び運転手不足の問題が深刻化（特にタクシー）
	鉄道
	綾部駅でJR山陰本線とJR舞鶴線が交差し、綾部駅利用者数は市全体の約8割を占める
	鉄道では夜間無人化やデジタル化が進み、高齢者や不慣れな人が、より使いにくくなっている
	バス
	あやバスは、市内各地区と綾部駅周辺を結ぶ生活交通を支える路線
	あやバスの運行本数は路線によって差がある
	その他の路線バスは、綾部駅と福知山を結ぶ広域的な路線
夜間の遅い時間帯は、運行していない	
その他	
夜間時間帯の公共交通（JR除く）はタクシーのみで、タクシー不足が生じることもある	
公共交通の空白地で、地域主体バスが運行している	
公共交通に対するニーズ・評価	
現在の公共交通への評価は高くはないが、重要分野であることの認識は高い	
若者の定住意向が低いのは、交通や買物等が不便なため	
公共交通の利便性向上策をしても、情報が十分に伝わっていない	
綾部市の公共交通は、免許を持たない人のための交通手段、買物・通院・通勤などの生活移動のための交通手段としての役割・機能が必要、という意見が多い	
高齢者に配慮した運行設定や環境整備への意見の高まり	

地域公共交通の課題

公共交通全般の課題

少子高齢化や人口減少社会において、まちの発展や賑わいづくり等のまちづくりの実現には、公共交通の安定的な運行の確保が必要不可欠である

公共交通のサービス充実、安定的なサービス提供

公共交通存続に向けた対策が急務（状況は切迫）

京都府北部地域やJR山陰本線（園部～綾部）沿線地域とも広域的な連携を図り、京阪神地域等への広域的な移動に関する問題にも対応する

（総合計画のキーワード別に課題を抽出）

総合的な課題

- 医 市民の健康な暮らしを守る
- 職 誰もが活躍できる雇用の確保
- 住 人口減少社会への対応と暮らしの安全・安心の確保
- 教育 次代を担う子どもの育成
- 情報発信 市の魅力向上と効果的な情報発信

公共交通のキーワード別の課題

- 免許のない高齢者等でも、気軽に外出できる環境の整備
- 公共交通で通勤や通学できる環境の整備と意識の変容
- どこからでも、都市機能が充実している中心部へ安心して移動できる環境の整備・維持・確保
- 次代を担う若者が、便利に移動できる環境の整備
- 情報を受け取る側の状況に配慮した、情報提供の強化及び認知度の向上

上位計画や関連計画で示されている内容

- 公共交通全体：誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築、小さな拠点を中心に利便性の高い地域クラスターの形成、中心市街地と各地域を結ぶ交通ネットワークの確保と充実を図りコンパクトアンドネットワークの都市構造の実現
- 鉄道：利便性向上、利用促進、広域交通の活用による定住促進
- あやバス：安全で利便性の高い運行の推進、生活交通の維持・確保（運行の確保）
- その他：ラストワンマイルの移動手段の確保

基本理念と基本方針

基本理念

みんなで紡ぎ、次世代に継承する綾部市の公共交通～公共交通の安定的なサービス提供による安全安心な暮らしの実現～

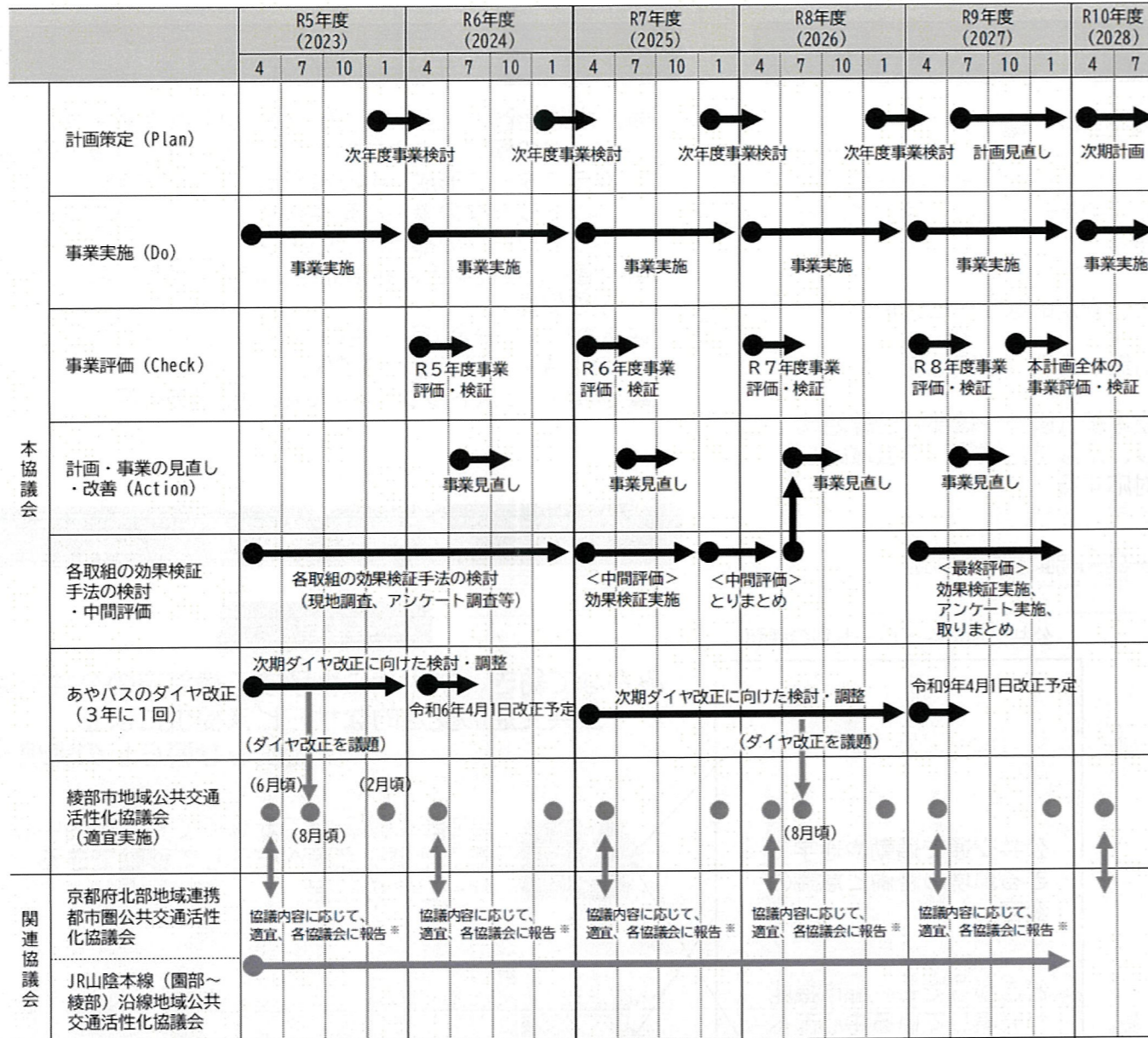
- 基本方針① 自動車の運転ができなくても、市内中心部や地域拠点等へ安心して移動できるサービスの確保
- 基本方針② 地域全ての公共交通を便利につなぎ、隣接市や都心部でも近くに感じられる移動サービスの実現
- 基本方針③ 公共交通の維持・確保・活性化に向けて、全ての世代や関係者が協働する
- 基本方針④ 最新技術等の積極的な活用や情報発信の強化等で、地域の魅力や活力を高める

3 計画実施のための推進体制

目標の実現、施策の継続的な実施に向けて、関係者及び公共交通事業者、住民など、様々な関係者が連携し、総合的な取組として進めます。

<綾部市地域公共交通活性化協議会の役割>

計画の評価、検証、見直し等を、主体となって実行します。
事業の実施状況や評価等を協議し、実施します。

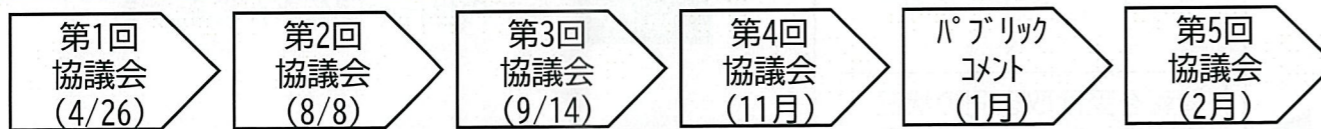


※ 協議内容に応じて、綾部市地域公共交通活性化協議会開催後、関連する各協議会において協議事項等を適宜報告する。

参考 手引きに掲載されている数値指標の例

目標例	数値指標例	区分	交通施策との関連性の高さ	住民目線でのわかりやすさ	計測に伴う調査・分析の負担
公共交通利用者数の維持・確保	住民等の公共交通の利用者数(総数、1便当たり、走行台キロ当たり等)	標準	高い	わかりやすい	負担小さい
	住民等の公共交通の利用頻度	推奨	高い	わかりやすい	
	住民等の公共交通利用率	推奨	高い	わかりやすい	
	平均乗車密度	推奨	高い		
	断面輸送量	推奨	高い		
	個別路線・系統の利用者数	推奨	高い	わかりやすい	
	利用者・住民等の地域の地域旅客運送サービス全般に対する満足度	推奨	高い	わかりやすい	
	公共交通に関する高評価(感謝等)、低評価(苦情等)の件数	選択		わかりやすい	
	利用者・住民等の地域の地域旅客運送サービスに対する認知度	推奨	高い	わかりやすい	
	事業効率の改善	公的資金が投入されている公共交通事業の収支(収支率もしくは収支差)	標準	高い	わかりやすい
公共交通への公的資金投入額(総額、利用者1人当たり、住民1人当たり)		標準	高い	わかりやすい	負担小さい
運賃収入		推奨	高い	わかりやすい	
運行経費		推奨	高い	わかりやすい	
クロスセクター効果(分野別代替費用と財政支出の差額)		推奨	高い		
既存サービスの改善(情報化)	情報のオープン化(オープンデータ化)	推奨	高い	わかりやすい	負担小さい
	キャッシュレス決済の導入件数・導入率	推奨	高い	わかりやすい	負担小さい
	駅・停留所施設、運行情報、広報媒体等の多言語化	推奨	高い	わかりやすい	負担小さい
	まちのにぎわい創出	商店街の来街者数	選択		わかりやすい
商店街最寄りのバス停の乗降者数		選択		わかりやすい	
観光振興	観光客数(入込観光客数、宿泊者数等)	選択		わかりやすい	
	観光地最寄りのバス停の乗降者数	選択		わかりやすい	
おでかけ機会の確保	各個人や地域内主要箇所からの通学・通院・買い物等の主な目的地への移動手段の有無・便数	選択		わかりやすい	負担小さい
	主な学校、病院、商店街近辺のバス停等の有無	選択		わかりやすい	負担小さい
	高齢者の外出回数	選択		わかりやすい	
	自宅から通学できる高校生の割合	選択		わかりやすい	
	公共交通カバー率(人口もしくは面積)	推奨	高い	わかりやすい	
	集落カバー率(人口もしくは面積)	推奨	高い	わかりやすい	
	公共交通空白・不便地域率(人口もしくは面積)	推奨	高い	わかりやすい	
	地域間の移動者数【地域間幹線系統確保維持事業の活用の際は設定推奨】	推奨	高い	わかりやすい	
	輸送容量	推奨	高い		負担小さい
	運行回数	推奨	高い		負担小さい
環境負荷の軽減	CO2排出量の削減	選択		わかりやすい	
	自家用車分担率の縮小	選択		わかりやすい	
	渋滞の削減	選択		わかりやすい	
安全確保	免許返納者数の拡大	選択		わかりやすい	負担小さい
人口規模の維持	公共交通の沿線人口	選択		わかりやすい	負担小さい
	住宅着工件数	選択		わかりやすい	負担小さい
	地価公示価格	選択		わかりやすい	負担小さい
系統間での円滑な接続の確保	地域間幹線系統に接続している地域内フィーダー系統の便数、接続率【地域内フィーダー系統確保維持事業の活用の際は設定推奨】	推奨	高い	わかりやすい	
	地域間幹線系統に乗り換える地域内フィーダー系統の利用者数【地域内フィーダー系統確保維持事業の活用の際は設定推奨】	推奨	高い	わかりやすい	
	地域内フィーダー系統と地域間幹線系統との平均待ち時間【地域内フィーダー系統確保維持事業の活用の際は設定推奨】	推奨	高い	わかりやすい	
	鉄道・高速バス等との接続便数	選択		わかりやすい	
	鉄道・高速バス等との平均待ち時間	選択		わかりやすい	
	鉄道・高速バス等との接続の有無	選択		わかりやすい	
	接続するフィーダー系統との乗り換え回数	選択		わかりやすい	
	接続するフィーダー系統との平均待ち時間	選択		わかりやすい	
	フィーダー系統との接続数	選択		わかりやすい	
	地域間幹線系統との接続の有無	選択		わかりやすい	

4 その他



※ 第4回協議会で、パブリックコメント用の計画案を提示
 ※ 第5回協議会で、パブリックコメントの意見照会結果等を反映した、計画最終案を提示

<本計画の構成>

- 計画策定の背景と目的
- 計画の基本方針と目標
- 計画区域、期間、位置づけ等
- 目標達成のための具体的な事業
- 綾部市の現状と課題の整理
- 計画の達成状況の評価と体制